

令和4年5月12日

鳥取県知事 平井 伸治 様

会派民主

会長 伊藤 保



5月補正予算編成等に当たっての要望事項について

令和4年度5月補正予算編成等に対して別紙のとおり要望しますので、予算編成及び今後の県政運営にあたり格段の御配慮をお願いします。

1 新型コロナウイルス感染症について

(1) 生徒・学生の学校生活の確保について

コロナが弱毒化し重症者ゼロとなった現在、学習、部活動、課外活動等学生生活の機会を損失し続けて3年目に突入した生徒や保護者から、「経済活動だけでなく、教育現場でも、感染を抑えて社会を廻す両立生活をさせてほしい。」という声が多く上がっている。そのため、学級閉鎖・学年閉鎖の基準、部活動停止、大会参加・実施等のガイドラインの見直しを検討すること。

(2) 夏季のマスク着用緩和と「安全な着用」の周知について

気温の上昇や熱中症予防等の観点から、マスクをしたまま運動することや、作業等で屋外にいるのは危険が伴うため、マスクを外すよう周知すること。併せて「安全な着用」について周知を図ること。

2 県職員の更年期症状における影響について

更年期症状は、その症状に個人差があり、症状が重い時に取得できるような特別休暇の制度がない。また、男性は更年期症状に気付かない場合もある。

厚労省が本年度から初の実態調査に乗り出すこととなった「更年期症状が生活や仕事に与える影響」について、女性管理職率全国一の鳥取県としては、全国に先駆けて実態調査をし、フォローアップの検討をすること。

3 ロービジョン相談窓口と福祉の連携について

ロービジョン相談窓口の充実及び周知の徹底を図ること。また、福祉介護の従業者や地域の支援員等に向けて、ロービジョンケアの情報提供を推進すること。

4 子どもの急性肝炎について

子どもの急性肝炎について日本でもいくつか症例が報告されている。過去の状況を含め、鳥取県の実態把握を行うこと。

5 保育士・介護士の処遇改善について

保育士・介護士等の3%程度の処遇改善について、10月の本格的実施に向け、実際に配置されている人数に即した措置を含めて、この事業のもつ「低い賃金で働く看護・保育・介護職の処遇改善をする」という目的が実質的に実現するような制度設計及び配置基準の見直しを国に要望すること。

6 大山登山の登山届提出について

令和3年度の登山届提出率は約4割とのことだが、全登山者提出を目指し、QRコードのPRを含め、県内外登山客の登山届提出の徹底した啓発を図ること。